

ハスの実だより

社会福祉法人
ハスの実の家
10月号
2020年・No. 470

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2 TEL (0776) 78-6743 FAX (0776) 78-6744 Eメール honbu@hasunominoie.com

毎日
元気な

楽しくー!

- 2 ★すくらむ
3 ★なかまのページ
4～5 ★特集記事：来春再スタートめざして!!
 / ～ホーム大規模修繕事業等～
6 ★家族のページ
7 ★職員のページ
8 ★交差点
9 ★今月のにやりホッと
10 ★ムーブ
11 ★物品深謝 ★ご寄付深謝
 ★お知らせ等
12 ★読者クイズ ★あとがき



あくらむ



私共家族があら市松影区に新居を構えまして28年が過ぎました。縁あってハスの実の家（施設）とはお隣さん同士です。松影区は世帯数が少ない為、お隣さんとは言っても50m位離れています。

当初、入居している人の声を聞いたときは戸惑いがありました。今はそれが自然となり元気な声が聞こえてくると誰の声かわかるようになりました。でも名前はまだわからない人もいますかね。

思い出話しを二つしたいと思います。一つは28年前、わが家の建前の日のことです。大工さんが柱を組むとタイミングよく「よし」と声を張り上げる元気な人がいるんです。知り合いの人に聞いたところ、施設の入居者だと知りました。これが「とっさん」との出会いです。教えてもらった名前が「とっさん」でしたが合っていますかね。最近もクリーンアップの清掃作業の時に挨拶して話をしました。仲良くなって28年間経ったんですね。私だけがそう思っているのかも。（笑）

次の思い出は15年位前になりますが、玄関先に20歳前位の青年が立っているんです。「何か？」と声を掛けた所、「寂しい、おねえちゃんどこ、寂しいよ」と言いながら私の家の中に入り込んで来てしまったのです。30分位話しをしながら落ち着かせようとしたんですが、若くて力があるので大変でした。その後、職員の方と私と3人でホームまで送ったことがあります。後日聞いた

話によると、ホームに来た初日のことで、寂しさでそのような行動をとったそうです。寂しくて、不安でたまらなかつたのででしょう。私は切ない気持ちになったことを今でも覚えています。それと職員さんは心と体力の両方の仕事をしていることを初めて知りました。本当に大変なお仕事だと思いません。

お隣さんは ハスの実の家

あわら市松影
区長 寺木 隆二

毎年ハスの実の家では「海風フェスタ」が開催されますが、私の次男も高校生の頃にボランティアで参加していました。子供が「楽しかったよ」って話してくれたことがとても嬉しかったです。確かに関わり合いを持つことが大事です。私の次男のようにボランティアに参加することは素晴らしいことだと思います。

ではご近所としての役割とは何でしょうか？それは施設での状況に耳を傾けることでしょうか。そして少しでも力になることです。しかしながら本当に出来ているのでしょうか。

それは私たち松影区の課題です。良いことも耳の痛いことも全て含めて施設との関係が続けていくこと、そして分かち合うことだと思えます。まずは挨拶をして会話をしてそれを続けていくことが大切なことだと信じています。

ハスの実の家は変化しています。もちろん良い意味です。これからの構想では近隣住民も参加出来る場所の増築計画があるということです。これは施設の人と住民が交流出来る場所になることでしょう。

同じ場所では何かを作り、会話をしたり、そしてお互いが笑い合える日を私は楽しみに待ち望んでいます。



ながまみ
カード

かんさぎょう



りさくるはん の おしごと

はりかんかいしやう



はたけさぎょう



来春再スタートめざして!!

ハスの実の家グループホーム大規模修繕等事業（第1期工事）
ハスの実の家保健・文化交流センター事業（第2期工事）

ハスの実の家が法人認可を取得し、あわら市（旧坂井郡芦原町）に移転して32年目をむかえました。無認可時代と合わせて55年の歩み。ここまで支えてくださった後援会や地域の皆様、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

私たちは法人認可を足がかりに様々な事業を展開してきました。芦原での新施設は定員30人の入所更生施設1ヶ所のみでした。障害のある仲間たちの「もっと仕事がしたい」「自分の家のように暮らしたい」「もっといのちを輝かせたい」という「ねがい」を形（事業）にしてきた歩みです。（現在21事業）しかしながら、1990年代後半からの制度改革の流れの中で福祉にも「経営」が求められる、「効率」や「成果主義」の考え方が導入されるようになったことで、障害の重い人たちや高齢知的障害の人たちの支援を充実しようとすると大きな矛盾が生じています。さらに、「常勤換算方式」による職員配置や不安定雇用により、慢性的な職員不足が生じており、事業によっては継続が困難になってきています。

そのような中、第2期中期将来計画（創立45周年）を10年がかりで推進し、まちなかバリアフリーホームや地域生活支援センターの

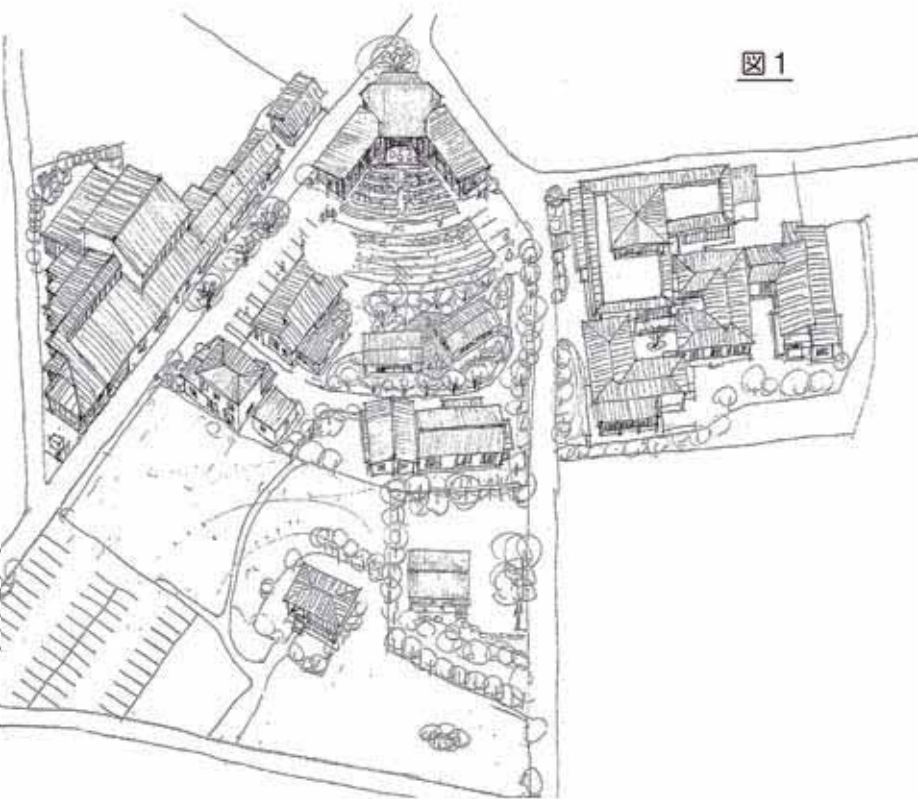
開設を進めてきました。さらにここ数年各事業の再編を進めており、今回のホームの大規模修繕等事業は、今後長期にわたり継続できる暮らしの場の要ともなる事業です。

昨年度、「国庫補助事業」に申請し準備を進めていたところ、「社会福祉施設整備費補助事業」

の令和元年度（2019年）補正予算の交付を受けることが決定しました。

この度、（株）松宮設計事務所様に設計監理を（株）深合様へ施工をお願いし、9月から工事が開始しました。

図1



I 大規模修繕事業 「整備のポイント」

大規模修繕等事業は第1期工事として9月～来年3月に完成予定です。今まで、法人本部や保健室、ホームの事務所があった「管理棟」を全て居住スペース化し、ホームの集団構成や機能を大きく再編していきます。

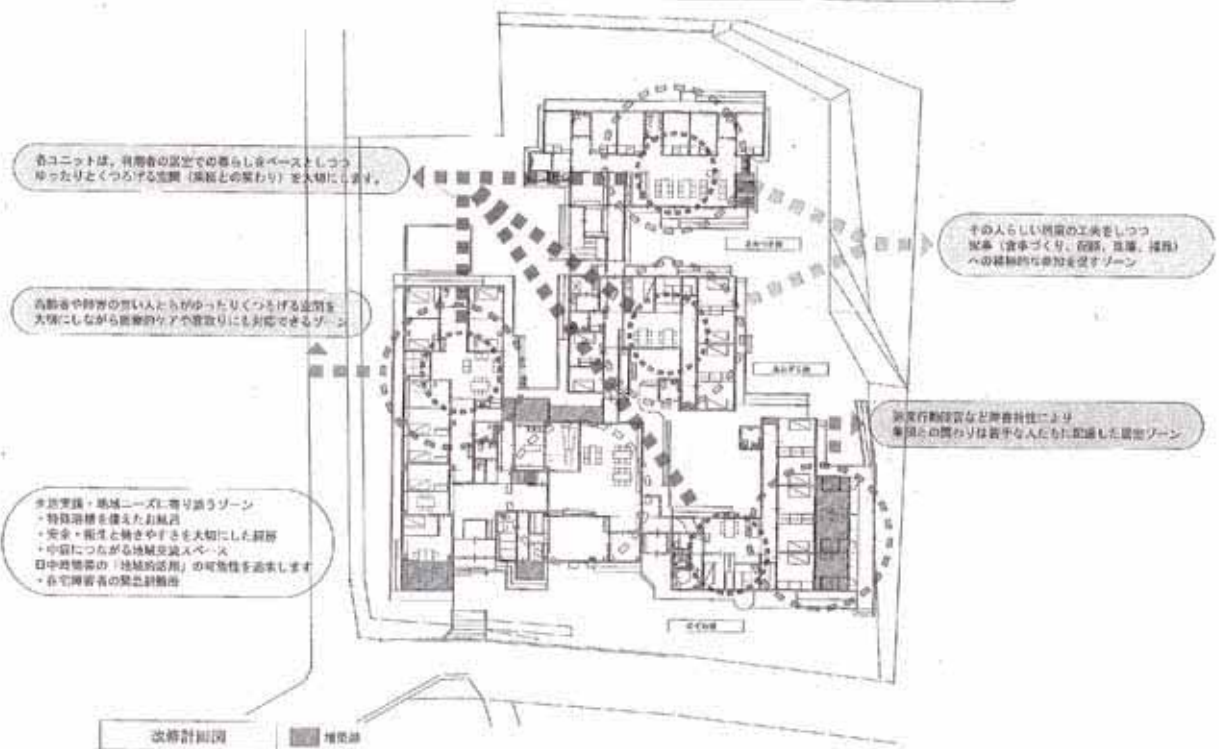
①施設の老朽化に伴う改善

築32年を経た建物は老朽化が進んでいます。空調設備、厨房設備等を使いやすく、また、ホームの集団構成の再編をすすめる、行動障害のある

図2

ユニットグループホーム大規模改修計画

地域ニーズと、ここで暮らす仲間達の特性をふまえた集居構成・日課暮らし・職員体制に適した環境整備



- ① 地域ニーズに寄り添う環境整備
- 地域生活拠点整備事業にも対応できる居住スペースの拡充(合計定員27名↓32名)やショートステイ定員の拡充(2名↓3名)特殊浴槽の整備。
- 「在宅障害者の緊急避難スペースの整備」「重度化・高齢化するまちなかホーム」「日中活動事業所」と連携した暮らしの場の拠点としての強化。
- ③ 防災害・防犯に備えた安心・安全のための設備整備
- 災害時のための非常食の保管スペースの整備、あわら市福祉避難所(二次避難所)としての機能強化、避難経路スロープ等の設置、拡充等。更に最大限プライバシーに配慮した防犯カメラの設置(夜間、外部向)

II 今後の工事予定
2021年

現在、法人本部、保健室やホーム事務所は法人敷地内の「ハスの実共同センターなごみ」に仮設しています。9月〜12月まで「管理棟」がおもに高齢の仲間が暮らす居住ユニットに改修されます。その後順次、既存の3つのユニットが1月以降改修されます。

また、「ハスの実の家 保健・文化交流センター事業」は第二期工事として従来の駐車場に法人本部事務局、アーカイブ室、地域保健、ステージ、地域交流、ギャラリー、ものづくり工房(アトリエ)等々の設備が新築されます。これは、現在「夢プラン協議」において各事業や部署の担当者が実践面(なにをめぐしてどのような活用するか)をふくめて協議を重ねており、細部の設計面に反映しながら11月頃より工事が開始される予定です。

(事業部長 川端幸代)



家族のページ

～仲間への想い～



う～ん…ばくっ♡

新野 五十鈴 さん
(友美さん母)

家族の幸せ

あなたの笑顔が



自宅での友美さん

お母さんより

ウエス班でお世話になっております、新野友美です。

今年31歳になります。職員の皆様には、お世話になりつばな

娘は生後6カ月になったその日から入院生活が始まりました。当時、ひとりふたり居るか居ないかの【細菌性髄膜炎】を思い、脳へのダメージを強く受け炎症反応数値も何万個という抗生剤が効かないものでした。

通常、髄液は無色透明。娘の頭頂部からはドレーンの袋が2本下がっていて髄液はばい菌で山吹色でした。頭からは玉の汗。娘を抱くと体は石のように重かったのを思い出します。

2度の髄膜炎を患い、合併症である【難治性てんかん】との戦い。昼夜問わず数秒間隔をあげる事なく襲ってくる痙攣の波。眠ろうとしても繰り返す日々。現在の娘を見る限り想像もつかない日々でした。よくここまで元気になってくれたと生命力の強さを感じています。

わくわくセンターでは車椅子移動ですが、家に帰ると四つん這いで部屋の中を

楽しんでいきます。特に襖の山水の絵が大好きで襖4枚、絵柄は下地が出るほど爪で削ぎ落とされてありません。

元気になってくれました。膝立ちも出来るようになりました。大きい雄叫びも許さずにはいられない。笑顔でいてくれて、幸せだと感じていてくれたら家族は幸せです。



トランポリン大好き！！

班職員からの一言

お散歩や食べることが大好きな新野さん！陽気な笑顔でみんなを明るくしてくれる存在です。これからも楽しいことたくさんしていきましょう！！

職員のページ

【所属】 ユニットホーム あかつき
チーフ

上坂 均



我が家族の名前は「漢字一つに音三つ」という法則があり、妻が歩、子どもが上から瑞・暎・陽（さて何と読むでしょう？）。子どもへの初めてのプレゼントとして、願いを漢字一文字に込めたつもりです。名前って単なる記号ではない、とっても大事な思いの込められたものだと思っています。

で、いきなりですが、みなさんは「ハスの実の家」の名前の由来をご存知ですか？実は「大賀ハス」と呼ばれる、今から二千年前の泥炭層から見つかり、時を経て花開いたハスの種（実）から採ったんです。

「永く暗い土中に埋もれたハスの実も、陽を受けて、いつくしみそだてられれば花ひらく。見捨てられた障害の子らも、温かく通い合う心のなかにそだてられる場所を得れば、いのちの花をひらいていく。きっとひらいていく。【「陽にむかって」より】

ハスの実の家が大切にしている「発達保障」の考え方を、こんなに分かりやすく示している文章はないと思っています。そして、様々な困難はあっても、一人一人の花を思い描きながら、僕はこの仕事を続けています。

【所属】 ハスの実の家
総務部

美濃 麻佑



こんにちは、美濃麻佑（みのまゆ）です。

旧姓の高宮で覚えてくださっている方もいらっしゃるかと思いますが、育休明けを機に“美濃さん”で働くことにしました。

ハスの実の家に入職して、たくさんの方とお知り合いになることが出来ました。仲間、家族、後援会の皆様、ハスの実に来てくださる方々、県外へ研修に行かせて頂いた際に、同じ障害者施設で働く方ともお友達になれました。ハスの実の家の職員になったことで、人の優しさ・ありがたさ・時に厳しさを学ぶことが出来ています。人との関わり合いの中で成り立っている職場だと常に実感しています。

また、後援会の会費担当をさせて頂いているので、会費をいただいた方への御礼のお手紙のやり取りもさせて頂いています。振込用紙にコメントを書かせてくださっている方々、いつもありがたい気持ちで拝読しています。この場をかりて御礼させていただきます。こんな顔の職員が、お手紙書かせていただいています。

皆様これからもどうぞよろしくお願い致します。

交差点 後援会

おすすめ 昆布を使った簡単料理!!

後援会では、北前船のカワモトさんのご協力を得て昆布商品を販売しています。詳しくは別添のチラシをご覧ください。収益はハスの実の家の仲間のために使われます。ご近所やお友達とは是非お買い求めください。

お求めはわくわくセンターまで 0776-78-7750

昆布を上手に食べよう☆☆☆

- 昆布の表面の白い粉はうまみ成分の一部、水洗いせず、ふきんで軽くふくようにしましょう。
- 昆布と豚肉を合わせると「うまみの相乗効果」で飛躍的においしく感じられます。



昆布のくるくる豚巻き

1. だし昆布を水でもどし、豚バラ肉を同じくらいの幅に切る。
2. 豚肉を広げ、その上に同じ幅に切った昆布をのせ、端からくるくる巻き、つまようじ2本でとめる。
3. 軽く、塩こしょうをふりフライパンでころがしながら中まで火が通るように焼く。
4. あら熱がとれたら2つに切る。



出汁を取った後の昆布を使うこともできます。
その場合は、焼き肉のタレなど濃い目の味付けて

塩吹き昆布でひと工夫



栄養もUP ↑

塩吹き昆布は、卵焼きや浅漬けに入れたり、ごま油と一緒に野菜の和え物にしたり、ホイル焼きに入れたり、塩加減さえ気を付ければ、いろんな料理に入れることができます。

一般社団法人 日本昆布協会 HP「こんぶネット」より

継続会員の皆様です。
ありがとうございます。

8・9月度

順不同、敬称略

あわら市 北條頭英・納村亮・有房諒栄・鹿島政彦・小幡政子・
吉田貢一・和田富美代・ヤギカンバン(株)・(株)ダイデン

坂井市 岡本美智枝・内田利勝・宇野佐和子・奥田光雄・
五十嵐正夫・大久保省二・畑本芳美・竹内泰治・
正田節子・直江美沙

福井市 石塚泉・林薫月・山野帆子・佐藤美和子・牧野朋子・
渡辺淳子・上山妙子・廣部すみえ・平田謙司・谷口正行・
山本美幸・第一防災株式会社

鯖江市 孝久忠央・田中美智子・青山貴代美

越前市 山本恵子

大野市 南部由起子・石田俊夫

石川県 宮本典潔・中田松義
滋賀県 嶋村久美子・中川治男
愛知県 水野純子
兵庫県 坂下茂
大阪府 小林保太・渡邊晶

今月のにやりホッと



2人はライバル！？ 和彦さんと優平さんの不思議な関係性

今年の6月、長年住んだハッピーを離れ、和彦さんがステップハウスに引っ越してきました。引っ越してきた当初は、いろいろな混乱からしばらくは不調に陥るかも…と危惧されていましたが、思いの外うまく順応して、まちなかにいたときと変わらずにのびのびと生活している様子がかえります。早くも兄貴気質を発揮し、「〇〇さん、ごはんまだやぞ、いただきますしてからや！」などと仲間たちの中心的存在になっています。

そんな和彦さんのことが気になっているのが、同じくステップハウスに住む優平さん。過去に自傷、他害行為が頻発していた優平さんですが、和彦さんがステップに来てからは、言動が少し変わり、他害行為が減少したように感じます。若い優平さんには、今までホームの中で話の合う仲間がないことが寂しかったのかもしれませんが、ホームの中で2人が顔を合わせると、必ず一言二言言葉を交わしています。一見、何でもない風景ですが、これが優平さんにとっては大切な時間なのかもしれません。

2人は波長が合うのか、お互いにちょっかいを出し合っているのをよく見かけます。軍配は8勝2敗ぐらいで優平さん。和彦さんの引き際には、職員との関係では見えづらい和彦さんのオトナな部分を感じます。たまに手の出し合いにまで発展していますが、ケガをするような喧嘩にはならず、服のボタンが取れたと職員に泣きついてくる和彦さんが、微笑ましくもあります。仲が悪いのかと思いきや、和彦さんが優平さんの部屋にお邪魔してパソコンで遊ばせてもらっていたりと、不思議な関係は続いています。

お互いに意識し合い、少し憧れながら、ちょっかいを出さずにいられない、対等な関係性。これは、これまでの和彦さんと優平さんのホーム生活にはなかったものです。これからもお互いに良いところを吸収し合い、高め合う関係が築けることを期待しています。

野田真士



ハスの実☆発信!! ハスの実わくわくセンターよりお知らせ!



レストランジャルダン様より

“食器一式を寄贈”
していただきました。



8月13日(木) ハスの実の家にて、レストランジャルダン様より食器一式155点の贈呈式が行われました。真っ白な素敵な食器を寄贈していただきました。仲間の食事の提供に、大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。



「仲間代表の節子さんより、ハスの実のクッキーをお返しにお渡ししました」

新政権に思うこと



2020年9月16日に、新しい内閣総理大臣が選出されました。新首相は着任時に、『前政権の継承』『私が目指す社会像は自助、共助、公助、そして絆だ。』と発言しました。自助、共助、公助は、社会保障や社会福祉のあり方を説明する際に、よく使われている言葉です。

現在、日本はコロナ禍の大変な中、不安を募らせ、それぞれが、それぞれにこれまで以上の努力、工夫をしながら日々の生活を組み立てています。そこへさらに『自助、共助、公助』と、この状況下で改めて求めたことに対して、今後の社会保障や社会福祉のあり方がより一層捻じ曲げられるように感じてしまいました。私たち一人ひとりが声を大きくして、それを束ねて、訴えていかなければと改めて強く感じています。

2021年度報酬改定に向けた動き



国は、これまで『障害福祉サービス等報酬改定検討チーム』が、7月～8月にかけて各団体のヒヤリングを行うなど、2021年度報酬改定に向けての動きが大詰めを迎えています。

まだ明らかにされていない部分は多いですが、共同生活援助、自立生活援助、地域相談支援、自立訓練と、就労移行支援・就労定着支援・就労継続支援など就労系分野で、報酬・基準についての論点等が提案されました。

その中でも、就労系の部分では、全体的に一般就労が強調された内容となっていること、A型事業の基本報酬のところでは実績の評価の中に新たな指標が加えられることが検討されていること、B型事業の基本報酬のところでは7段階評価の見直し（一番下の枠の拡大）が検討されているなど、成果主義の考え方が継続されています。

きょうされんは、平均労働時間を基準とする報酬基準（A型事業）や平均工賃にもとづく報酬基準（B型事業）は廃止すべきとヒヤリングの中で意見を表明しました。

今後は、11月頃に報酬改定に関する資料が出される見込みとなっており、これまで皆様にお伝えしてきた『送迎加算』や『食事提供体制加算』の廃止なども含め様々なことが明らかにされます。対応した新たな運動の提起があるかもしれません。その際には、どうかご協力をお願い致します。

わくわくセンター管理者
きょうされん福井支部事務局長 白崎 慶彦

仲間たちのボーナスづくり きょうされん冬季事業販売のお知らせ



夏季販売ではたくさんの皆様にご協力頂き有難うございました。

この度のコロナ渦で、社会全体が先の見えない不安を抱えています。障害のある仲間たちにも、日中事業製品の販売縮小やホームでの暮らしに深刻な影響が及ぼされ、大きな痛手となっています。この事業販売を通して仲間たちのボーナスを保障し、一人ひとりの生活を少しでも豊かにしたいと考えています。

次回の冬季事業品販売も全力をあげて取り組んで参りますので、どうぞまた、一人でも多くの皆様にご協力頂けますよう宜しくお願い致します。

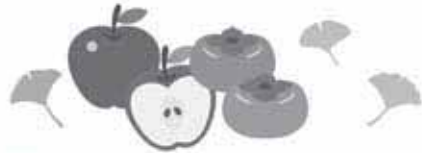
表現活動部会 仲間たちのボーナスづくり担当
西井 里美

物品深謝

8・9月

順不同お許しください

アサヒ飲料株式会社様、伊藤新一様、匿名様



ご寄付深謝

8・9月

順不同お許しください

ハスの実の家

廣部すみえ様、黒川栄次郎様

60,000円

ハスの実の会(後援会)

芦野暎子様、富田登貴子様第一防災株式会社様、孝久忠央様、平田謙司様、東馬場広治様、内田利勝様、石田俊夫様、坂下茂様、宮本典潔様 19,000円

新職員紹介

所属 生活介護事業 アルバイト
岩田あかり



今年度7月から紙すき班としてアルバイトをさせていただくことになりました。私は保育士になるためにここで働きながら学んでいるので、ここでの仲間との生活支援を通して、気持ちに寄り添い、その行動や個性を尊重しながら積極的に関わっていきたいと思います。まだまだ未熟なところもありますが精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

所属 共同生活援助事業 世話人
坂本 藍



私は2020年6月、あかつきホーム世話人(夕方パート)として、ハスの実に入りました。福祉関係の仕事は、まったく素人です。あかつきの皆はとってもやさしく、教えも大変親切で、助かっています。これからも、ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

所属 生活介護事業生活支援員
石森 由起



今年度6月よりウエス班に所属しています。学んできた専門知識は美術で、イラストレーターの仕事もしております。福祉の現場は何もかも初めてなことばかりで不安も多いですが、夢プランなど仲間に対してアート分野でのこういった支援ができるのかを考える際、何かお力になれば幸いです。よろしくお願ひ致します。

主に毎日の送迎に使うすべての公用車を8月に専門業者に依頼し、除菌清掃を行いました。これからも感染予防に努めてまいります。

おたよりコーナー

後援会会員様よりご感想を頂きました。ありがとうございます。

いつもハスの実だよりをたのしくみせていただいております。ありがとうございます。 廣部すみえ様

いつも会報をありがとうございます。 O様

いつもごくろうさまです。 坂下 茂様

新しいホームのみなさんの表情・生活の物語すてきですね。色々あるけど、その色々が生活の彩(いろどり)ですネ!

嶋村久美子様

仲間のHさん、Mさんが元気でおられること、ありがとうございます。

Y様

・花堂の家の板の間で 創設者夫婦布切れ選別し
・ハスの実のパン口にしたくも足萎え 車もなければまな裏に描くのみ

K様

ハスの実だより
あとがき



夏も終わり今年は慌ただしく1年過ぎるのが早く感じます。どこにも出かけない年だったなーと思いつつ、家族と家でゆっくり映画を見たり軽く運動したりとのんびり過ごすことが出来ました。3才の娘はどっか連れてけーと少し暇な様です。コロナ渦が収まったら色んな所に連れて行きたいと思います。

田嶋 健太郎

社会福祉法人
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
 - *「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
 - *「美咲ホーム」
〒913-0058 福井県坂井市三国町新宿 2丁目 2-18
電話・FAX(0776)97-8511
 - *「空と海」
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ脇 1丁目 4-3
電話・FAX(0776)81-4746
 - *「友歌里」
〒919-0628 福井県あわら市大溝 3丁目 15-17 102
電話・FAX(0776)73-3129
 - *「希陽(こはる)ホーム」
〒919-0628 福井県あわら市大溝 2丁目 25-1
電話・FAX(0776)73-5203
- 生活介護事業
 - *「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援 B 型事業
 - *「わくわくワーク」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
 - *「ハスの実パン工房」
〒919-0621 福井県あわら市市姫 1丁目 608-2
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 地域生活支援センター ハスの実
 - *「相談支援事業所 ハスの実」
 - *「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
 - *「まちなかホーム事務所」
〒919-0628 福井県あわら市大溝 2丁目 25-1
電話(0776)73-3100 FAX(0776)73-3122
Eメール: center@hasunominoie.com

ハスの実 読者クイズ

はだ寒い!! 残暑が終わった途端に…
さて今月も恒例の

ハスの実 読者クイズ

です。

第8回は グループホーム からの出題です。

今月号にも掲載されていますが、ハスの実の家はあわら市に移転して32年、無認可時代から55年となりました。これまでの歩みの中で福祉制度変革の荒波に飲まれながらも地域、家族、仲間、職員の尽力により、仲間たちの様々な「〇〇〇」を形(事業)にしていきました。

「〇 〇 〇」

ひらがな3文字でお答えください。

それでは〇の中に入る答えを書いてどんだんご参加お待ちしております。確率高いですよ。



応募方法

電話またははがきか Mail (honbu@hasunominoie.com) にクイズの答えと住所・氏名・連絡先を記入の上ご応募ください。締切りは11/20(当日消印)。正解者の中から抽選によりハスの実の家オリジナル商品をプレゼント。ふるってご応募ください。
第7回読者クイズの答えは「こはる」でした。ご応募いただいた方の中から坂井市のTさん、坂井市のAさんに商品を発送させて頂きました。

★こちらを読み取って
ハスの実FBに
アクセスしてね!!

